

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 48

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成26年3月16日<2014. 3. 16>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@csw-iba.org

第2回共通基盤研修を開催しました！ in 茨城県総合福祉会館

3月1日は茨城県総合福祉会館を会場に、2013年度第2回社会福祉士共通基盤研修を開催しました。



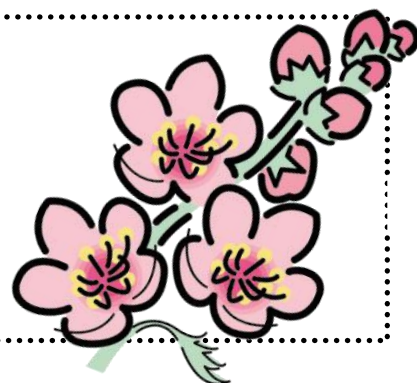
目次、第2回共通基盤研修を開催しました！…1

「2013年度 第2回 社会福祉士共通基盤研修」に参加して…2

会員の声「同志」、会員募集中…3

ブロック活動報告(県央・県南・鹿行)…4～6

計報、編集後記…6



『2013年度 第2回 社会福祉士共通基盤研修』に参加して



県北ブロック 関根 浩子

2014年3月1日（土曜日）に水戸市の茨城県総合福祉会館で行われた、『2013年度第2回茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修』に参加しました。

総合福祉会館内の他の会場でも多くの講座や会議が開催されており、会場や駐車場はフル稼働のようで、3階多目的ホールと第2駐車場を初体験しました。

昨年10月に行われた第1回の研修にも参加させていただき、非常に良い刺激を受けましたので、今回も少しでも力をつけることができれば、また、他の機関の方たちと情報交換ができればと出席しました。今回は、小雨模様の中、30名弱の受講生がおられました。

私は日立市の障害福祉サービス事業所に勤務していますが、参加者名簿を見ると社会福祉協議会勤務の方が多く、県北ブロックの参加者が少ないなと感じつつ、研修会場の席に着きました。

研修は、茨城県社会福祉士会副会長でつくば国際大学准教授の椎名清和先生による『地域の福祉力を高めるために ～「発問」力を鍛えよう～』というテーマでの講義と演習でした。

まず、順行の想像力と逆行の想像力の視点からの演習をまじえた講義でした。日常業務の中で、言葉を選んでいるかを改めて振り返る時間となりました。

そして「問い100本ノック」の個人での演習に続きました。自分自身の頭の固さや「想像」がなければ「創造」はできないことを痛感しました。その他の講義では、二重関心モデルやソーシャルワークプロセスとしての出来事（events）・考え（thoughts）・気持ち（feelings）について、ロジカルシンキング等、発問力を磨くための示唆に富んだ内容でした。ここでも、私はゼロベース思考ができるのだろうかと考え込んだりもしてしまいました。また、フォーコーの「自発的意志は心の底から沸き上がるものではなく、一般的なシステムや習慣からの“刷り込み”の結果として生じる」という言葉を示されたとき、普段の支援を思い返してしまいました。

午後は4～5人に分かれての福祉教育プログラムを企画する演習でした。年齢や職務内容が違う初対面の受講生が、数時間の間に、考え・話し合い・課題を達成し発表するといグループワークは、常に新鮮な発見があります。4グループの皆様、ありがとうございました。

研修終了後に行われた懇親会にも出席させていただきました。

異なる勤務種別・ブロックの皆さんからの伺うお話は、研修内容と並ぶくらいに有意義であり、自分もより一層学びを深めなければならないと、戒めとなる機会になりました。余談ですが、車でしたのでアルコールは飲めず残念でしたが、食事を美味しくいただきました。

日常業務の中で、「どう思っているの。どうしたいの。」というような問いを利用者に投げかけていましたが、今回の研修でそれだけでは不十分であることを理解しました。今後、支援者として発問力を発揮できるよう自己研鑽に努め、「答えを教える」のではなく、一緒に考える（耐える）ことができる支援者で常にいられるよう、業務に当たりたいと思います。

椎名先生をはじめ、研修を企画して下さった方々・受講者の皆様に『感謝』の1日でした。



障害者相談支援専門員として働くようになって自分のスキルの偏りに不安を覚えるようになりました。それまでは知的障害者の支援に従事しているだけの知識のみでなんとなく仕事できていましたが、相談支援専門員になり実際の支援に入ると、障害という中でも精神障害、身体障害、発達障害等、なんとなく知っていただけの分野が、いつの間にか知っていて当然の分野になっていました。そのほかにも社会保障や高齢者の分野を駆使しなくてはいけない状況になりました。自己研鑽という意味合いからも研修を進んで受けようと思うようになり、今年度は二つの研修を受けることにしました。

一つは昨年度から行っている基礎研修です。基礎研修Ⅰを経てⅡを受講することについても年初めに躊躇しましたが、今ではやってよかったと思えるようになりました。基礎研修Ⅰに比べると受講する人数が少ないことや、内容ボリュームが格段に増えていました。(特にDVDはつらかった…)

ですが、逆に人数が少ないことで他の受講者の方ともお付き合いが増え、専門分野はそれぞれ違っても、分かりあえる「同志」になることができました。自分の相談支援の仕事にもフィードバックでき、困ったときに気軽に相談できる仲間にもなっています。研修は「辛くない!」と言っては嘘になりますが、それだけの価値があり、来年度の基礎研修Ⅲへもぜひ参加したいと思います。

もうひとつの研修は、成年後見人養成研修です。この研修は、組織の中の相談支援専門員としてではなく、社会福祉士久米亮太として、活動したいと思ったことが動機でしたが学べば学ぶほど、後見人の責任の重さに重圧を感じてしまいます。

やはりそこでも支えられたのが、社会福祉士という「同志」です。誰しも、最初は、わからないことや、自信がないことが、当たり前なこととそれを補うのは、知っている「人」に聞くことです。

先輩や同期そして様々な職種の「同志」とめぐり合うことができたことは社会福祉士会という組織があるからこそだと思います。

会員募集中!!

3月14日、第26回社会福祉士国家試験の合格発表がありました。今年度は全国で45,578名の受験者があり、そのうち12,540名が合格、茨城県でも210名の合格者がでました。

皆様の職場やお知り合いの中にも新たに合格された方はおりませんか? 試験合格はスタートラインです。自己研鑽を重ねネットワークを広げていくために、ぜひ社会福祉士会への入会のお声かけをお願いいたします。

県央ブロックだより



こんにちは。新年が明けたのもつかの間、アッと言う早さで3月となりました・・・・

この3ヶ月を振り返りますと、1月25日には「福祉関係者のための司法と福祉の勉強会」を開催し、48名の方にお越し頂きました。活発な質問が相次ぎ、このような勉強会をまた設けてほしい！との声がたくさん寄せられました。次なる開催に向けて準備を進めているところですので、どうぞお楽しみに♪

来月には新しい年度が始まりまた忙しくなるのですが、ブロック活動の更なる充実のために平成26年度もどうぞよろしくお願い致します。ブロック活動へ、多くの方のご参加をお待ちしています^o^



●○「福祉関係者のための司法と福祉の勉強会」に参加して○●

茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ 高橋久里

平成26年1月25日（土）県総合福祉会館にて、①契約について ②損害賠償についての勉強会が行われました。法テラスのかたがたから、事例をもとにした話を伺えました。

①の契約は、バスに乗る、本を買うといった日常の行為にも契約が発生することや、契約は当事者の合意であること、契約が成立するとき、契約によって負うことになる義務の話が聞け、日頃意識していない部分に目を向けられました。

②の損害賠償では、損害賠償の範囲は、「あればこれなし」が原則であり、これは、事故→ケガ→通院→手術→リハビリなどのように、起きてなければ発生しない考え方があることを知りました。

損害賠償額の調整の部分では、老人ホーム職員が、すべき業務を後回しにし、入所者がその影響で死亡したという事例を基に、過失相殺や損益相殺の説明がありました。誰がどこまでやらなければならなかったのかということが裁判での争点になることや、加害者、被害者ともに公平に責任を負担するという過失相殺の考え方とともに、過失については、やるべきことをきちんとやっていれば、問われないこと、そこは常識の範囲、業務上の責任、日頃の信頼関係といったことも含めて考えることがわかりました。

日頃、派遣調整側にいる自分たちより、派遣され現場に出ていく手話通訳者や要約筆記者などに、通訳業務上の責任と合わせて危機管理を高めるためにも、一緒に学習しておきたいと感じた勉強会でした。

◆県央ブロックについて◆

県央ブロックは

- ◆水戸市 ◆茨城町 ◆城里町
- ◆大洗町 ◆笠間市 ◆石岡市
- ◆ひたちなか市 ◆小美玉市
- ◆かすみがうら市

に在住されている方の対象地域です。
実は、あなたも県央ブロック会員です！

◆懇親会のお知らせ◆

- 平成26年 4月18日（金）
- 19:00 ~
- 場 所：格子屋 赤塚店
- TEL：029（255）6781

*お申し込み用紙をFAXで
事務局までお送り下さいね。

県南ブロック活動報告

ホームページ ⇒ <http://ibanancsw.hp2.jp>

前回の広報誌発行より3ヶ月余り、その間、県南ブロックではいくつか研修会を開催してきましたので、今回はそちらをご報告します。来年度も会議や懇親会、研修会の予定がありますので皆さんふるってご参加くださいね！初めて参加の方も大歓迎です♪

「相談支援専門員・サービス(児童発達)管理責任者情報交換研修会」を開催しました！

12月21日つくばライフサポートセンターみどりのにおいて(主催：社会福祉法人創志会・社会福祉法人尚恵学園、後援：県南ブロック)相談支援専門員・サービス(児童発達)管理責任者情報交換研修会を開催し、56事業所104名の参加がありました。

講演では社会福祉法人三富福祉会サポートセンターハロハロの服部敏寛先生をお招きし、「ご本人を中心とした支援計画とは～作成のために大切にしている思い～」というテーマで深く熱く、その人のために考えたきめ細かな支援方法などの実践報告をお話していただきました。また、身体障がい分野、精神障がい分野、知的障がい分野、障がい児分野において、実際に相談支援専門員、サービス管理責任者として働いている方4名に登壇して頂き、個別支援計画作成にあたり、自分が大切にしていること、良かったこと、困っていること、これからの課題について発表して頂きました。

また、交流会では名刺交換や情報交換を行い、同じ悩みを抱えている事業所と連絡や相談が出来るようなネットワークづくりを行い、それぞれの事業所に良いお土産ができた良い機会となりました。

情報交換研修会は第3弾も開催予定です。



「ともに支えあう地域づくりとは…」を開催しました！

2月2日は講師に松戸市常盤平団地自治会長である中沢卓実氏をお招きして研修会を開催し60名の参加がありました。

『孤独死ゼロ作戦』から学ぶこれからの地域福祉のあり方について実際の事例を交えながら写真や新聞記事等も活用し丁寧に説明していただきました。

常盤平団地では「あいさつは幸せづくりの第一歩みんなで創る『向こう三軒両隣』友は宝なり」を地域の合言葉とされています。

近所付き合いが脆弱となりつつある時代ですが、孤独死を防ぐにあたり、地域で支えあうことの大切さを改めて感じた講演となりました。



「グリーフケア～大切な人を亡くした人の支援になることにならないこと～」を開催しました！

3月8日は講師につくば国際大学 医療保健学部 精神看護学 教授である高橋聡美先生をお招きして研修会を開催しました。

大切な人を亡くした時に起こりやすい思考や行動、身体症状をはじめ、必要なケア、現在の取り組みの状況など分かりやすくお話していただきました。燃え尽きずに長年に支援を継続していくためにはセルフケアが重要であることを改めて感じました。また、グリーフサポートの場を増やしていくことが必要であることも感じました。



★今後の県南ブロック会議予定★

5月17日(土)15時～

詳細はホームページでお知らせします！

鹿行ブロック情報

鹿行ブロックでは、去る平成26年3月2日（日）に茨城県精神保健福祉士会との共催により、講師に首都大学東京 長沼葉月 准教授を迎え、「解決志向アプローチを学ぶ」をテーマに合同研修会を開催しました。



社会福祉士や精神保健福祉士など相談を受ける立場として、常に検証し続けなければならないのは「支援者の視点重視になっていないか」ということ。そして、当事者の環境や状況に対して、「分かったつもり、勝手に理解したつもりになっていないか」ということです。

「解決志向アプローチ」は、問題と思われることに焦点を当てるのではなく、解決・状況のアセスメント、当事者の視点を重視することがポイントとなり、問題が解決した姿と一緒に思い描きながら、当事者や周囲の強みを生かして、一步步解決の道筋を構築する相談支援の方法です。

講義では、「朝起きてから研修時間までに‘人生捨てたもんじゃない’と思えた出来事」をテーマに二人一組のワークで伝え合い、そのことを対話形式で掘り下げていく演習がありました。

ネガティブイメージ（問題・原因）よりも、ポジティブイメージ（少しでも悪くないと思えること）を掘り下げることによって、よりよい状態を思い描くことができるようになり、当面の支援目標も見えやすくなります。また、悪循環になっている、もしくははなってしまう関わりや状況に対しての思考の転換も図られるようになることを実感しました。

相談に訪れてくる当事者が、相談対応後に少しでもポジティブなイメージを持って、小さな一歩でも踏み出せるようになる糸口を支援する大切さを改めて確認できた機会となりました。

研修会終了後には合同で懇親会も開催しました。医療機関、相談支援事業所、入所施設、行政等、様々な立場で仕事されている方々と情報交換ができ、研修、懇親会ともに充実した1日となりました。参加者の皆さんありがとうございました。

鹿行ブロック 三浦秀作（会員No.35308）

一 訃報

会員の永井万美さんが2月7日にご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【編集後記】

春らしい風を感じられるようになりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。年度末を迎え、新年度の準備にお忙しい方も多いのではないかと思います。迎える2014年度がよい年になるといいですね。

来年度も研修会や懇親会、定時総会など予定されています。ぜひご案内やホームページ等チェックしてふるってご参加くださいね。ネットワークを広げていきましょう！

広報事業部